

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 朝陽学院

あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・子ども達がのびのびと育っていくような偏りのないカリキュラムのもと、基礎・基本の力を培い、友達との触れ合いの中で、心温かい心身共に健康な人格形成に努める。

2. 本年度重点的に取り組む目標

- ・基本的生活習慣の徹底
- ・豊かな感性や創造性を培う
- ・運動能力の向上
- ・遊びや経験、異年齢との関わりを通して、思いやりの心を育てる
- ・健康、安全教育の充実

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	【教育課程・指導】 ・幼児一人ひとりが自己発揮できるための指導	B	・一人ひとりに合わせた言葉かけや環境構成を意識した。 ・言葉かけや環境構成への配慮が不十分な箇所があった。 ・教職員が積極的に園外研修に参加した。
2	【安全管理】 ・施設や設備の安全点検や整備	A	・道具や遊具の正しい使い方を守って遊ぶようになった。 ・排水の流れが正常でなかったり、倉庫の雨漏り、床下の水溜まりがあったりしたため、整備を行った。
3	【教育環境整備】 ・遊具、用具、図書等の整備の状況	A	・今の学年に合わせた図書を担任が選択し、取り入れることで、園児がより図書への意識を高めることができた。 ・適切な用具を用いることで安全にあそぶことができた。
4	【預かり保育】 ・園や教職員による受入れ体制の状況	A	・預かり保育職員を増やし、細やかに対応できるようにした。 ・園児の状況に合わせて活動を提供し、空間や場を整えて、楽しく過ごせるように工夫した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	職員が積極的に園外研修に参加することで、多様な知識を獲得し、質の向上に繋がった。また、園児の活動に取り入れるなどして幼稚園活動を行うことで、より目標に合った指導を明確に行うことができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	事故等の緊急事態発生時の対応力を高める
2	預かり保育	安全に実施できる環境を整える
3	職員研修・指導等	園長等の管理職が定期的に保育観察を行う
4	家庭・地域との連携協力	保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応する

6. 学校関係者評価委員による評価

園の目標に対して教職員が適切に取り組んでおり、園児に関しては教育目標に沿った成長を感じている。今後、職員研修が教育の質の向上に繋がることを期待したい。また、安全管理や家庭・地域との連携協力に関しては、徹底してもらいたい。